

開催要綱

みんなで 
 学んで、つながって、笑顔でつくろう障害児教育の未来

第11回 全国障害児学級&学校 学習交流集会 in 滋賀



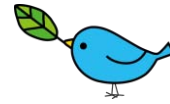
日程：1月7日（土）～ 9日（月）
 会場：7日全体会／びわ湖ホール（滋賀県大津市）
 ：8日・9日／ピアザ淡海・コラボ滋賀
 大津市勤労福祉センター

2,000 1,000
 500)

7日(土)		12:00-12:40	12:40	13:00-13:40	13:40-14:40	15:00-17:00	18:00-	
		受付	文化行事	開会全体会	映画と語り 「夜明け前の子どもたち」上映	白石正久さん 記念講演	全体交流会	
	会場	びわ湖ホール					琵琶湖ホテル	
8日(日)	9:30-11:30		昼食休憩	12:30-17:30		18:30-		
	・てんこ盛り講座(15テーマの講座) ・文化バザール(3つの教室)			・基礎講座 ・旬の実践分科会(15の分科会)		交流会(各県ブロック・青年・障害児学級ごと)		
	ピアザ淡海・コラボ滋賀・大津市勤労福祉センター							
9日(月)	9:30-12:00							
	教育フォーラム							
	ピアザ淡海・コラボ滋賀・大津市勤労福祉センター							

主催：全教障害児教育部・教組共闘連絡会・滋賀実行委員会
 TEL 03-5211-0123 FAX 03-5211-0124

1 / 7 (土)



全体会会場：大津/びわ湖ホール (アクセス：JR「膳所」駅で京阪乗り換え。
京阪「石場」駅より徒歩約3分)

映画「夜明け前の子どもたち」

/1968

『発達保障の歴史に学び、今と未来を創造する』

(龍谷大学)

全体交流会 18:00

交流会会場：琵琶湖ホテル

参加費6,000 円

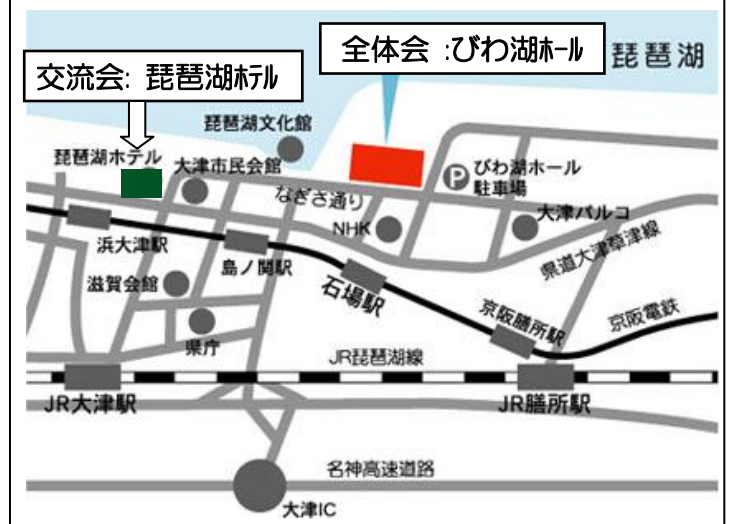
住所：滋賀県大津市浜町2 40

電話：077 - 524 - 1255

アクセス：京阪浜大津駅より徒歩5分

JR 大津駅 (北口) より徒歩約 10 分

【全体会・交流会会場マップ】



てんこ盛り講座	講師・運営
1, わくわくどきどき楽しい国語	山下弥生さん (東京)
2, わくわくどきどき楽しい算数	北川祐子さん (埼玉)
3, わくわくどきどき楽しい理科	水谷龍雄さん (愛知)
4, わくわくどきどき楽しい美術	板井理さん (大阪)
5, わくわくどきどき楽しい体育	中村芳道さん (京都) / 関口正和さん (東京)
	HP
6, げんきにやろうよ性教育	岡野さえ子さん (山口)
7, 障害児学級の授業づくり	福島緑さん (京都)
8, 障害児学校の授業づくり	羽田千恵子さん (滋賀)
9, 学ぼうLD・ADHD児の指導	窪島務さん (滋賀大学)
10, 発達保障の源流を学ぶ	中村隆一さん (立命館大学)
11, 「大津方式」を学ぶ	西原睦子さん (滋賀)
1974	
12, 子どものみかた、とらえ方	竹沢清さん (愛知)
13, 楽しく学ぼう働く力	船橋秀彦さん (茨城)
14, つながろう障害児学級	全教障教部事務局
15, 集まれ臨時教職員	宅間博昭さん (京都)

1/8



文化バザール	講師
子どもと一緒に歌いたい歌・歌あそび	北川健次さん（滋賀）
よし笛講座	びわ湖よし笛アンサンブルやす
100	3,000
マジック講座	シ・オ・ミ（滋賀）
30	10
30	
大道芸	丸ちえろ（滋賀）
	30
科学実験	黄野瀬（滋賀）

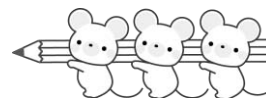
1/8

講演テーマ	講師
1.子どもの見方Ⅰ 「障害のある子どもの教育—希望と信頼で導こう、子どもの発達」	三木裕和さん（鳥取大学）
2.子どもの見方Ⅱ 「薫さんとの歩みから」	高阪正枝さん（滋賀）

1/8

旬の実践分科会	共同研究者
1.小学校での教育実践	越野和之さん（奈良教育大学）
<<レポーター>> 石垣雅也さん（滋賀）「通常学級における特別支援教育～何を実践の中心に据えるか～」 ...	
原田早苗さん（兵庫）「支援学級は楽しいところです」	
14	
山田貴子さん（山口）「障害児学級と交流学級でともに育つ」	

旬の実践分科会	共同研究者
2,中学校での教育実践	藤森善正さん（大阪）
<<レポーター>> 加藤由紀さん（大阪）「中学校支援学級で大切にしてきたこと～集団と個別～」	
----- 田島益子さん（埼玉）「中学校での授業づくり」	
----- 村田信代さん（山口）「青年期の子どもに寄り添って」	
3,発達障害児の教育実践	青木道忠さん（大阪）
川村和人さん（滋賀）「普通科高等学校における特別支援教育」	
----- 中川陽一さん（京都）「通常学級内での特別支援のあり方」	
----- 高木伸子さん（東京）「高校の現場で特別支援教育を考える『みんなでできてよかったね』」	
4,視覚障害児の教育保障	大前俊夫さん（大阪）
長尾博さん（滋賀）「全盲児の平面的イメージの初期段階を豊かに育てる自立活動」	
----- 辻岡均さん（大阪）「視覚障がい教育を支える専門性について」	
----- 江口美和子さん（埼玉）「『障害と仲間を受け入れ自分らしく』～美樹が歩み始める時」	

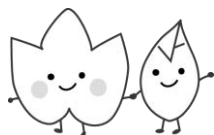


5.聴覚障害児の教育保障	森原都さん（滋賀）
≪レポート≫ ろう話学校幼稚部（滋賀）「ろう話学校幼稚部 5歳児のとりくみ」 <hr/> 石原辰夫さん（兵庫）「ろう学校で社会の授業を!!」 11 20 <hr/> 小出千恵子さん（埼玉）「仲間と共に自分らしく……地域で学ぶ難聴児への支援」	
6.発達の遅れと授業づくり・教育課程づくり ア、最重度と言われる子どもたち	原田文孝さん（兵庫）
木澤愛子さん（滋賀）「『学校が好き』『先生が好き』『勉強って楽しい』～重度重複クラス小1・2組『ここご』の授業づくりから～」 1 4 1 1 <hr/> 児島弘子さん（和歌山）「Aちゃんと一緒に…みんなと一緒に…」 Spo2 <hr/> 澤田京子さん（高知）「障害の重い子の授業づくり」	
7.発達の遅れと授業づくり・教育課程づくり イ、ことば獲得期までの子どもたち	櫻井宏明さん（埼玉）
岡田徹也さん（滋賀）「“モノ” に支えられるのではなく、人を支えに」 1 <hr/> 土橋知幸さん（奈良）「小学部1年生の『朝の会』のとりくみ」 11 <hr/> 関根由佳さん・上平緑さん（埼玉）「『絵本の世界を楽しもう』～ワニワニのおでかけ、さつまのおいも」	

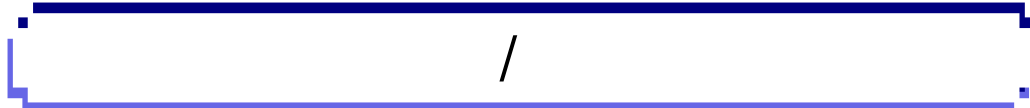
8. 発達の違いと授業づくり・教育課程づくり ウ、教科・教科入門の子どもたち	杉山敏夫さん（東京）
«レポーター» 岩崎徹さん（滋賀）「R 君・H 君の言語の力を高める取り組み」	
川端千央さん（和歌山）「友達とつながる学級づくり」	
福田真智子さん（埼玉）「あこがれ・共感をこめて一学級集団を基礎とする教科学習をー」	
9. 自閉症・自閉的傾向のある子どもたちの授業づくり・教育課程づくりⅠ（幼、小）	白石正久さん（龍谷大学）
伊藤みどりさん（滋賀）「麗ちゃんの思いがわかるとき～試して、失敗して、試して、『そう思ってたのか！』～様々な知見を知りつつ、教師が納得いくものを積み重ねよう。方法論を超えた『真実』をとらえるために～」	
川口慎司さん（大阪）「『イヤ！』と言える良ちゃんになってほしいー「共感」することで「表現」を引き出す」	
小池えり子さん（東京）「大規模学級の授業作り～『みんなで学ぶ』～を大切に」	
10. 自閉症・自閉的傾向のある子どもたちの授業づくり・教育課程づくりⅡ（中、高）	白石恵理子さん（滋賀大学）
山下真寿美さん（滋賀）「信頼関係とは子どもを信頼すること～それを教えてくれたみかんちゃんとの日々」	
福岡圭介さん（京都）「障害の特性と暮らしを見つめて」	
松尾圭一郎さん（長崎）「『楽しい』と思える学校に」	

旬の実践講座 1/8(日)

11, 青年期の課題と授業づくり、教育課程づくり	小畑耕作さん（和歌山）
<レポーター> 疋田真喜さん（滋賀）『先生ありがとう』と言えるまで～2年間のキセキ：ゆうきさんとお互いぶつかりあって学んだこと～	
北野裕子さん（大阪）「作業学習「紙工」でつきたい力～紙すき作業を通して～」	
野崎かのこさん（北海道）『高校時代が人生の宝となるように』～S ちゃんの事例と本校の取り組みを通して～ S	
12, 病弱・訪問の子どもたちの教育保障	猪狩恵美子さん（福岡教育大学）
原和弘さん（滋賀）「M・Tくん小学部6年間のあゆみ（訪問教育の取り組み）」	
長島康代さん（京都）「自分でやりたい、誰かのためにがんばりたい～子どものねがいに沿った個別の指導計画づくり」	
佐藤比呂二さん（東京）「すべての子ども達に“輝く生活”を～国立がんセンター内いるか分教室の実践報告～」 	
13, 特別支援教育と障害児学校、学級づくり（動向・運動・学校づくり実践）	荒川智さん（茨城大学）
池下好司さん（滋賀）「滋賀の大規模化」 1. 62 2009 10	
近畿ブロック・東京、埼玉、神奈川、ほか	



14. 子どもの生活を考える（寄宿舍、放課後保障）	丸山啓史さん（京都教育大学）
<p>◀レポーター▶ろう話学校寄宿舍（滋賀）「今を生きている手応え、今を生きる喜びが、明日を展望する笑顔をつくる」</p> <p>。</p> <p>桐野千恵さん（京都）「入舎をきっかけに、学校が大好きになったRさん～笑って、泣いて、怒って…ぶつかりあいの中で育つ～」</p> <p style="text-align: center;">etc.</p> <p>高橋健太さん（神奈川）「防災に対する安全指導を通して」</p> <p style="text-align: center;">11</p>	
15. 青年の実践を竹沢先生と学ぶ	竹沢清さん（愛知）
<p>西川哲矢さん（滋賀）「体を動かす楽しさをたくさん味わう授業づくり～身体表現活動を通して～」</p> <p>-----</p> <p>山林哲さん（大阪）「『もう、わかってる！』をどう受け止めるかー自己ケアの実現に向けてー」</p>	



各県・ブロック別交流会

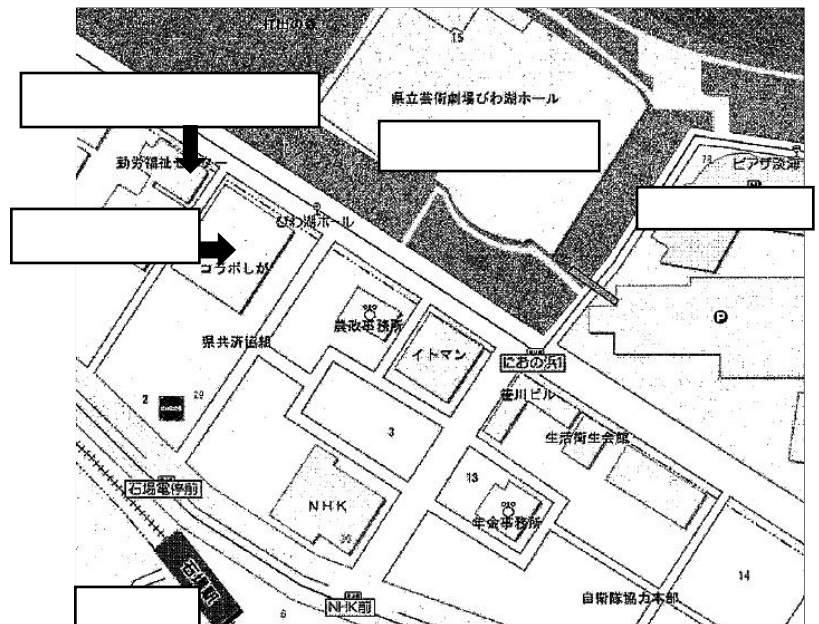
障害児学級交流会

詳細は当日お知らせします



教育フォーラム	コーディネーター・パネラー・レポーター
I, 生活の危機は発達の危機	Co. 中村尚子さん(立正大学)、青木道忠さん(大阪) Pa. ぼぼろスクエア、小野川文子さん
II, とっておきの授業づくり、学校づくり	Re. 原田文孝さん、北川祐子さん
III, 通常学級にいる困っている子どもたち	Co. 柴田昭二さん(大阪) Pa.
IV, 高校・高等部における特別なニーズをもつ子どもたちの教育	Co. 白石恵理子さん(滋賀大学) Pa.
V, 青年教職員よろず相談、フリートーク	
VI, 親の本音、親の期待	植松久仁子さん(滋賀)

【会場マップ】





1、参加の申し込み方法について

2、参加費について

，
，
，
，
，

3、宿泊について

03-5211-0123

...

4、交流会（7日）・お弁当（8日）について

5、申し込み（報告）の締切について

6、参加費のお支払い

7、お問い合わせ（全国実行委員会・全教障教部）

申込用紙に記載のうえ、各組織・団体本部にお送りください。

	E-mail	

■ 参加内容（該当する箇所に○印および金額を記入してください）

	1/7	1/8	1/9		
					3,000 8 or9 2,000 1,000 500
					1,000 8
					6,000 7

--

1、参加の申し込み方法について

~~~~~

~~~~~

2、宿泊について

3、交流会（7日）・お弁当（8日）について

4、申し込み（報告）の締切について

5、参加費のお支払い

6、お問い合わせ（全国実行委員会・全教障教部）